

文字サイズの指定に制限はない！

物理 物理 物理 物理 物理

Word をいつも使っている人から、質問を受けたことがあります。

「大きな文字にしたいのですが、指定できないのです」とのことでした。案内板の張り紙を作るので、A3版の用紙に一杯の大きさの文字で「受付」の2文字を作りたいのですとのこと。

「標準メニューの書式のフォントサイズで指定するのですよ」とアドバイスしたところ、その人は「それくらいは知っています。指定する値が72ポイントまでしか指定できない」とのことでした。

先入観とは恐ろしいもので、メニューに出てくる数字は確かに72ポイントまでです。だれも、そこから選びなさいとの制限はありません。自由にキーボードから入力すれば良かっただけです。

OpenOffice.org では 800 ポイントに指定して用紙からはみ出す文字も指定可能でした。どこまで指定できるか限界は試していませんが。Word、一太郎 でも同様です。

文字の縦横比を変えると「縦長文字、横長文字」ができる！

文字の縦横比を変えるには、標準メニューの「書式」→「文字」で、文字装飾ダイアログを呼び出し、「位置」タブをクリックすると指定欄が表示されます。中央にある「回転と倍率の指定」の幅の倍率を変えるのです。100% が標準ですから、50%にすると幅が半分になるので縦長文字に、200%にすると、幅が2倍の横長文字になります。

文字幅(25%)、文字幅(50%)、文字幅(100%)、文字幅(200%)、文字幅(400%)
文字幅(25%)、文字幅(50%)、文字幅(100%)、

文字サイズと同様に、文字幅の割合の数値も自由な値を入力できます。

筆者愛用の「文字装飾」は「白抜き+影付き」！

標準メニューの「書式」→「文字」で、文字装飾ダイアログを呼び出し、「フォント効果」タブをクリックすると、「中抜き」、「影付き」などの装飾効果が得られます。1行目は「中抜き」+「影付」

装飾効果 → 装飾効果

「色文字」+「影付」も可能です。

装飾効果 → 装飾効果

そのほかにも、浮き出し、掘り込みなどの装飾も可能です。

装飾効果、装飾効果